

平成 21 年●月●日

## 口腔機能維持管理にかかわる助言内容

歯科医師 ・ 歯科衛生士

施設名

- 口腔内状態の評価方法
- 適切な口腔ケアの手技
- 口腔ケアに必要な物品整備の留意点
- 口腔ケアに伴うリスク管理
- 施設において日常的な口腔ケアの実施にあたり必要と思われる事項

頸部の過伸展（首が後ろに反ってしまい、顎が上がっている状態）を示している人が見受けられます。こんな人に、口腔ケアを実施しようとすると、さらに顎が上がってしまい、誤嚥のリスクがあります。顎をしっかり引くことができる体勢での口腔ケアが必要です。たとえば、利用者の後ろ側に回り、介助者のお腹で首が上がらないように抑えつつ上から覗き込むように口腔ケアをする。背もたれの高い車いすや壁などを利用する。枕などを利用するなど工夫が必要です。